

第2期小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略策定について

第1期小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度～令和元年度）の枠組みを基本としつつ、次の5つを軸に、第2期小郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和2～6年度）を策定する。

第2期策定における5つの軸

- ① つながるまち小郡アクションプランの内容を反映
- ② 第5次（第6次）総合振興計画との整合
- ③ 小郡市緊急財政対策計画との整合
- ④ 国が示す「新たな視点」を考慮
- ⑤ SDGsの理念を反映

《国が示す新たな視点》

- ① 地方へのひと・資金の流れを強化する
- ② 新しい時代の流れを力にする
- ③ 人材を育て生かす
- ④ 民間と協働する
- ⑤ 誰もが活躍できる地域社会をつくる
- ⑥ 地域経営の視点で取り組む

人口ビジョンの改訂

平成28年策定の「小郡市人口ビジョン」についても、最新の数値や状況の変化を踏まえて、必要な見直しを行う。

第1回有識者会議における第1期の検証・主な意見

- 基本目標1「雇用創出」、基本目標2「新しい人の流れ」、基本目標4「安心な暮らし」については、おおむね目標達成に向けて推移している。
- 基本目標3「結婚・出産・子育て」については、他の基本目標と比べて、施策の効果が十分に出ておらず、更なる施策の充実が求められる。
- 平田家住宅に加えて、復原した油屋などの歴史文化施設と連携した活用方法を検討していく必要がある。
- KPIである待機児童の数値については、その年の最大値を示さないと、深刻さが伝わらないのではないか。
- 首都圏での移住相談を受けた後のアフターフォローを適切に行っていくべきではないか。
- 第2期では、関係人口の創出・拡大が大きなテーマとなっているので、注力していくべきである。
- 住宅開発で市外から新しく転入してきた方たちの、小郡の郷土愛を育む施策に取り組んでいくと、定住につながっていくのではないか。